

広島市立広島特別支援学校 校長 中尾 秀行
(扱い 進路指導部 広報係)

～次へのステップ「校内実習」～

高等部第1学年 普通科

1月21日から25日まで5日間、普通科全員が「かきの殻通し」「しいたけの菌打ち」「食品サービス」「軽作業」「清掃」「縫製」の6グループに分かれて校内実習を行いました。類型の枠を越えての実習は、普段、関わりをもつことの少ない生徒同士が新鮮な空気の中で“仕事”という緊張感を共有しました。刺激し合いながらも助け合い、グループの目標に向かって挑み続けた5日間となりました。実習目標を具体化して数値で示し、成果が分かりやすいように表にしたり、完成品を販売したりして生徒はやる気を高めることができました。仕事をする大変さだけでなく、達成したときの楽しさや喜びを感じられたことは、自信につながったと言えます。事後学習で自己評価を発表する生徒の輝くような笑顔からは実習の成功と成長を感じることができました。



清掃グループ（スクイージーでの窓ふき作業）



かきの殻通しグループ（ホタテの数を数える）

～職場体験実習に挑戦！～ 高等部第1学年 職業コース

職業コース全員が8か所に別れて企業実習を行いました。3日～5日間、学校から離れて実際に会社で実習をしました。事前に打ち合わせに行って場所を知り、自宅からの移動方法を練習する生徒もいました。「初日は震えるほど緊張した。」「笑顔がなかなかできなかった。」と、初めての経験に戸惑うことが多い中、これからの自分に必要な力を見つけることができる有意義な実習となりました。2月末まで続きましたが、実習に出る生徒に残る生徒からの「頑張ってるね」「遅れるなよ。」というエールが大きな力になっています。








広島市役所食堂
(調理補助)

アルク東千田店
(青果の品出し)



～中学部作業見学がありました～ 小学部第6学年

毎年卒業を前に、中学部の学校生活について学習します。その一つに中学部の作業見学があります。今年は1月31日に見学しました。それぞれ体験コーナーが設けてあり、短時間ではありましたが、興味をもって活動することができました。

<p style="text-align: center;">中学部の 作業学習の様子を 紹介します！</p> <p>学部縦割りで五つの作業グループに分かれて学習をしています。</p>	<p style="text-align: center;">クラフトグループ</p> <p>今年度「つくろう！新しい校章」という単元で、牛乳パックを再生して作った小さい筒で、新しくなった校章の壁画を制作しています。完成後は玄関近くに飾る予定です。</p> 	<p style="text-align: center;">園芸グループ</p> <p>移転後、畑作りからスタートでした。まさ土の山を一輪車で何回も運び、畝を作りました。今畑ではいちごやそら豆、たまねぎが冬を越しています。収穫できる春が待ち遠しいです。</p> 
<p style="text-align: center;">陶芸グループ</p> <p>粘土を伸ばし棒でたたいたり伸ばしたりした後、型を抜いたり成形したりして小皿や箸置きなどの製品を作っています。学校に来られるお客さんへのお土産作りも取り組みました。</p> 	<p style="text-align: center;">クッキンググループ</p> <p>ポテトサラダや大根餅、カップケーキ作りに取り組みました。教室から調理室が近いので、生徒にとって安心感もあり、移動がスムーズに行えるので時間を有効に使うことができています。</p> 	<p style="text-align: center;">手工グループ</p> <p>絞り染めをした後、4グループに分かれて、カーテンの製作をしました。授業で使用している被服室の鏡力バーとして利用しています。製作したものが役立つことを実感し、意欲的に作業に取り組んでいます。</p> 

～「余暇活動の体験」「職場見学」そして3年生に向けて～高等部第2学年

進路学習の卒業後の生活を考える学習の中に「余暇活動の体験」があります。4、5、6、7組は広島市中心身障害者福祉センターで、エアロビクス、バランスボール、カローリングのスポーツ体験をしました。センターの指導員さんから教わり、しっかりいい汗をかきました。時間があつという間で「もっとやりたい。また行きたい。」という人も。心身障害者福祉センターのスポーツ体験は、「市民と市政」に案内が出ています。これを機会に、チャレンジしてみたいはいかがでしょうか。

1、2、3組は職場見学を行いました。いろいろな職種を知り、自分の適性を考えることをねらいとしました。班に分かれて広島市皆賀園、フレスタ、ヒロツク、セイエル、佐川急便、でじま・くにくさという六つの事業所に行きました。「食品製造」「物流」など今まで知らなかった職種を見学したり、体験したりして自分に向いているか、どのようなことが難しいか、など考える機会になりました。

3月の修学旅行が終わるといよいよ2年生も終わりです。3月18日から進路個別懇談を開始します。今までの取組を振り返りながら保護者の皆様と卒業後の進路について考えていきたいと思っています。お忙しい時期ではありますが、どうぞよろしく願いいたします。

～1年間の取組から～ 高等部第3学年

1月の保護者懇談会では、現在の進路希望状況と1年間の進路の取組について説明しました。

企業就労については、今年度からJSTが配置となり、例年になく進路開拓が行われ、生徒一人一人の適性やニーズに合った職種の企業で実習を行うことができました。特に、来年度障害者雇用率が引き上げられる(1.8→2.0%へ)こともあり、これまであまりなかった介護施設や清掃関係の実習受入がありました。実習は1回では決まらず、2回もしくは3回と行うケースもあり、結果が出るまでに6か月以上かかった生徒もいました。生徒の働きたいという意欲や熱意が評価に大きく影響すると同時に、就職後にも保護者や学校、関係機関としっかりと連携が取れることを求める企業が多いように感じました。

施設・作業所・デイサービスに関しては、高等部2年生の3学期の段階で卒業後の進路先として、どこを第一希望にするか保護者に考えてもらうようお願いしてきました。第一希望のところから実習を行い、受入枠がなかったり、少なく入れてくれるか不安な状況の場合に、次の実習を行いました。その結果、12月の施設の申請までにほとんどの生徒が実習を終えることができました。今年度は新設された施設がいくつかあり、昨年度と比べ生活介護の受入枠が広がりましたが、それに伴って、一部の施設への希望が集中しました。また、9月に放課後等デイサービスの利用要件が変更となり、卒業後4月から利用できないこととなり、保護者の中には困惑された方もおられましたが、今年度は何とか待機のために通所できる施設を決めることができました。卒業後利用可能な施設・デイサービスについては、3月になって受給者証が届き、施設と契約することで進路決定となります。

また、同窓会については、3月8日の卒業証書授与式後に入会式が行われ、第18期生として同窓会の一員となります。年2回の同窓会行事では、卒業生にとって情報交換やリフレッシュの場ともなりますので、是非参加していただけたらと思います。

卒業生一人一人進路先は異なりますが、新しい環境に早く慣れて豊かな社会生活が送れることを心より願っております。

～第2回高等部生徒就職支援連携会議

及び地域生活・就労支援ネットワーク会を終えて～

2月14日に、ハローワークや就労に関わる様々な関係機関の方々に参加していただき、第2回高等部生徒就職支援連携会議を開催しました。今年度の取組報告と来年度に向けての支援や連携に関する情報交換を行いました。今年度からのJST配置に伴い職場開拓や職種の開拓が例年以上にすすんだ点や、就職後の支援体制の充実について議論がなされました。今後、就職希望者が増加することが予想されることも踏まえながら、進路指導体制の見直しや関係機関と連携を取りながらの支援体制の強化などを検証し、より充実した進路指導が展開されるように努めていきたいと思っています。

2月19日に、地域生活・就労支援ネットワーク会を開催いたしました。生活支援相談員の方々ははじめ関係機関やPTAの代表の方々に参加していただきました。昨年度の生活支援相談会での事例に関しての経過報告や今年度の生活支援相談会で出された相談内容について情報交換をしました。相談後にサービスの開始が始まり大変有意義であった成果や卒業後に児童デイサービスが利用できない、就労移行支援B型施設が卒業と同時に利用できなくなる可能性があることなど来年度の進路指導を進めていく上での大きな課題も明らかになりました。より良い生活の充実と進路先の確保に向けて関係機関との連携を十分に図りながら取組を進めていきたいと思っています。 <進路コーディネーター>

～就職支援で感じたこと～

今年初めて、本校で就職支援を行いました。うまくいった事例、いかなかった事例を振り返ってみました。周囲からみて心配した生徒がスムーズに内定がとれたことが数例あります。これらに共通していることは、本人に働く意欲が強いこと、元気で明るいこと、早く志望を定めたことなどです。実習の様子を見ても、学校で見せる姿と違い真剣に頑張っていました。逆に力があると思っていた生徒が苦戦した例もあります。本人の働く意欲が弱いことや、志望がなかなか定まらないことなどが原因と考えられます。就職活動は厳しい競争です。当初求人枠があっても、遅くなっていざ応募しようとしたら、すでに他の人が内定しているという状況が多々ありました。来年度、就職を志望される生徒は、適性を見極め、志望先を早く定めて、意欲的に取り組んでほしいと思います。その他、前回号でも述べましたが、社会人としての基本的なマナーを身に付けていくことも大事ですので、家庭での御協力をお願いしたいと思います。

〈JST (ジョブサポートティーチャー)〉

～1年間をふり返って～ 卒業後の進路 (生き方) の実現に向けて

忘れかけていた暖かな日差しにふと気付く3月。今年も高等部第3学年59名が
巣立つ季節になりました。



進路指導の中で「キャリア教育の視点に立って」という言葉が出てくることがあります。「キャリア (career)」とはラテン語で「車道」を起源とし、「道」や「足跡、轍 (わだち)」などを意味します。馬車の車輪の跡が道に刻まれるように、車輪を動かして進んでいくことを想像しながら、進路指導では進むべき道を見付けるだけでなく、今に至る道のりを考えることも大切であることも感じました。

進路ガイダンスの中の「進路指導を進める上で大切にしたい視点」の1番目の項目に「進路決定の主人公は本人～卒業後の進路 (生き方) の実現に向けて、主人公である本人の参加と自己決定を大切にした取組」という一文があります。59名の進路決定には59通りの過程があります。卒業後の進路 (生き方) の実現に向けて、一人一人の卒業後の生活をイメージしながら、本人の思いやニーズに立って、本人や保護者と丁寧な話し合いを重ねて決定した進路を、自信をもって進んで行ってほしいと思います。振り返ったときにその轍はしっかりと確実に今に続いているはずです。新しい社会で豊かに毎日過ごされることを心から願っております。

今年度も本校の進路指導について御協力と御理解をいただきありがとうございました。障害者福祉を取り巻く環境は日々変化しています。今後とも情報を保護者の皆様に発信し、また保護者の皆様からの御協力や御助言等も受け止め連携を取っていきたくて思っております。今後ともどうぞよろしく
お願いいたします。

〈進路指導部長〉

～祭り・イベントの御案内～

施設・作業所より、祭り・イベントの御案内が届いております。施設・作業所の雰囲気を知るチャンスです。是非お気軽に足を運んでみてください。

森の工房 AMA 「春のブルーベリーフェア」	3/9 (土) 10:00~13:30	安芸区矢野東2-4-24 Tel 888-8822
地域活動支援センターふたば 「ふたば春風まつり」	4/27 (土) 11:00~14:00	西区都町30-4 Tel 293-2741
おりづる作業所 「光と風まつり」	5/19 (日) 10:00~15:00	西区観音新町三丁目9-6 Tel 235-2029